

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組

(3) 学習指導の充実

実践事例を見ることができます→



- ① 1単位時間の授業を充実し「問題発見・解決能力」の育成を目指す「9つのフレーム」や、「自己調整力」の育成を目指す「学びの山」による指導を通して、各教科等における確かな資質・能力の育成に取り組んだ。
- ② 各教科等でのICTの効果的な活用に取り組み、小中連携した活用事例の蓄積と整理に取り組んだ。【資料あり】
- ③ 子どもの学びを止めない取組として「オンライン学習」「1年生から積極的な端末の活用」「特別支援教室での交流授業での活用」に取り組んだ。

成果

- ① 子どもが身に付けるべき資質・能力や子ども自ら「何を」「どのように学ぶか」を明確にした授業改善が進んだ。
- ② 効果的なICTの活用事例を持ち寄り、整理することができた。
- ③ 端末の持ち帰りや、オンライン学習の仕方を身に付けることができた。



【ICTを活用した授業改善例】
電子黒板を用いた授業の一例

質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

取組

(3) 業務の効率化に向けた取組の充実

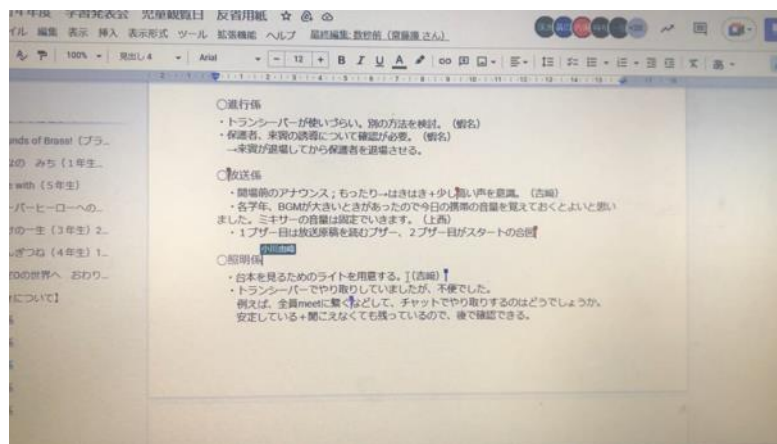
実践事例を見ることができます→



- ① コアチームによる（管理職・主幹・分掌部長・事務職員による構成）改善プランを策定し、取組や成果の周知を職場や保護者に行った。また、学校評価とリンクした効果の検証（超過勤務データ、職員の声等）に取り組んだ。
- ② ICTを活用した業務改善（本来業務に専念し、教育活動の質の最大化を図る）として、クラウドの活用によるデータの一元管理を行い、全員がいつでも最新情報を手に入れるようにするとともに、資料の共同編集等により業務の効率化を図った。【資料あり】

成果

- ① 教育の質を落とさない業務の精選（削減・統合）につながった。また、事務職員が加わることで、執務環境の改善や教頭の業務の軽減につながった。
- ② 遠隔でも資料編集や打合せが可能になり、情報の共有・集約が各段に早くなった。また、スケジュールと資料の提示が効率よく行えるようになった。



【ICTを活用した業務改善例】
行事の反省を共同編集で効率化